

サイエンスコミュニケーション講座

(全4回)

「サイエンスコミュニケーション（以下SC）」講座の概要

港区は、小学校からの英語学習の導入をはじめとして様々な先進的な教育活動を推進しております。新設された「みなと科学館」において、先進的な理科学習推進の一環として「課題解決・双方向型学習」として注目されている「SC」に関する教員対象の講座を、実績ある講師をお招きして開催することとしました。またとない機会ですので、奮ってご参加ください。

- SCの理論
- 科学館におけるSCの展開
- SC活動のデザイン
- 学校教育での展開事例

講 師：渡辺 政隆（東北大学特任教授・日本サイエンスコミュニケーション協会会長）
小川 義和（国立科学博物館調整役）
高安 礼士（港区立みなと科学館プロジェクトアドバイザー・日本サイエンスコミュニケーション協会理事）

日時*：第1回 2020年11月20日（金）14：30～16：30
第2回 2020年12月18日（金）14：30～16：30
（第2回講義終了後17:00～18:30、渡辺政隆氏によるサイエンスカフェを開催）
第3回 2021年1月22日（金）14：30～16：30
第4回 2021年2月12日（金）14：30～16：30

受講料： 無料
対 象： SCに関心のある、港区立小中高等学校教員および
港区立校以外の教員、教員を志す学生、科学館職員、科学館運営サポーター等
定 員： 20名
場 所： 港区立みなと科学館 実験室（東京都港区虎ノ門3-6-9）

【申込方法】「港区立小中学校教員」の方は、港区教育委員会を通してお申込ください。
それ以外の方は、03-6381-5042まで電話でお申込ください。
【申込締切】2020年11月19日（木）

*連続講座のため、できましたら全4回参加できることが望ましいです。

【講義概要】

本講座では、サイエンスコミュニケーションに興味・関心のある方を対象として、科学館利用の最も基本となる「科学館の学び」の構造を理解し、「科学館の場」を通して、「サイエンスコミュニケーション」の学校教育での展開例を紹介します。

そのため、本講座では大きく「サイエンスコミュニケーションの全体像の理解」と「サイエンスカフェ」を体験します。サイエンスコミュニケーション・スキルの習得と実践例として各自で学校で行うサイエンスコミュニケーション活動の「企画書」を参加者が作成し、発表します。

【講義予定】

回	実施日時	講義内容	講師名
第1回	2020年 11月20日（金） 14:30～16:30	「サイエンスコミュニケーションの考え方と方法論」 本講座の進め方と、国立科学博物館におけるサイエンスコミュニケーター養成実践講座を事例にサイエンスコミュニケーションの基礎概念と方法論等を学ぶ。	小川義和 高安礼士
第2回	2020年 12月18日（金） 14:30～16:30	「サイエンスライティングとサイエンスカフェの体験」 簡単なサイエンスライティングを体験し、指導を受ける。 講義終了後にサイエンスカフェを聴講する。 （自由参加）（*1）	渡辺政隆 科博SCA メンバ （*2）
第3回	2021年 1月22日（金） 14:30～16:30	「国立科学博物館におけるSC活動とSC活動の実践」 サイエンスカフェ、博学連携、対話型の理科教育の事例などの紹介を基に、グループ編成を行い、サイエンスコミュニケーション活動を実施するための計画を策定し準備を行う。	高安礼士 科博SCA メンバ （*2）
第4回	2021年 2月12日（金） 14:30～16:30	「サイエンス活動の実施・まとめ」 受講者が最終レポートの準備・発表し、講座全体のまとめを行う。	小川義和 高安礼士

* 1 : 12月18日は講座終了後に渡辺政隆氏によるサイエンスカフェを開催いたします。
参加は任意です。（17：00～18：30開催。一般参加もあります。）

* 2 : SCAメンバー：国立科学博物館サイエンスコミュニケーター・アソシエーション
（国立科学博物館サイエンスコミュニケーター養成実践講座修了者の有志）

【お問合せ】

港区立みなと科学館 サイエンスコミュニケーション講座担当
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-6-9
TEL:03-6381-5041（代表）
<https://minato-kagaku.tokyo/>

主催：港区立みなと科学館
共催：日本サイエンスコミュニケーション協会
協力：国立科学博物館サイエンスコミュニケーター・アソシエーション